



# 土器川における 大規模水災害に適応した対策検討

## 本検討の概要

- 近年、地球温暖化などの気候変動により豪雨等の発生頻度が高くなっている傾向にあります。これにより、計画規模を上回る洪水(超過洪水)が発生する恐れが高まっています。
- 本検討は、「香川地域継続検討協議会」(会長：香川大学危機管理研究センター長)と連携し、土器川で大規模河川氾濫が発生した際の被害想定や対策等及び「水災害に適応した強靱な社会」作りの方向性についてとりまとめるとともに、香川県内における「水災害に適応した強靱な社会」作りの方向性のとりまとめに資するものです。
- そのため、土器川氾濫地域の関係機関がメンバーとなり、「大規模水災害に適応した対策検討会」を設置するとともに、意見集約の場として土器川氾濫地域の住民が集まり、意見交換するワークショップを開催します。

### ● 香川地域継続検討協議会（既存会議）

- ・メンバー 国地方支分部局、香川県、高松市、坂出市、経済団体、香川大学、インフラ各社等
- ・設立 平成24年5月31日

「とりまとめ書(案)」の提出

### ● 大規模水害に適応した対策検討会

- ・メンバー 香川大学危機管理研究センター、香川県中讃土木事務所、丸亀市、まんのう町、坂出市、普通寺市、宇多津町、琴平町、香川県防災士会、四国地方整備局香川河川国道事務所

今後の取り組み

意見集約

### ★ 大規模水害対策ワークショップ (WS)

- ・メンバー 土器川氾濫地域住民、香川大学危機管理研究センター、香川県中讃土木事務所、丸亀市、まんのう町、坂出市、普通寺市、宇多津町、琴平町、香川県防災士会、四国地方整備局香川河川国道事務所

終了

### 大規模水害対策ワークショップの流れ

	情報の共有	意見出しのテーマ
第1回 WS	被害想定（堤防決壊を想定） 被害の内容（どこで何が起こるか）	いろいろな立場から被害の内容に応じて、 <b>困ることを抽出</b>
第2回 WS	大規模災害が発生した際に行われる一般的な活動の内容	<b>困ることの掘り下げ</b> （左記の活動で困ることに対応できるのか） 地域の生き残りの <b>アイデアを抽出</b>
10/6実施 第3回 WS	土器川の大規模水害に対する地域機能継続案（適応策案）を作成・提示 適応策の効果分析結果（対策前と対策後の比較図）	<b>アイデアの掘り下げ</b> （“水害に強いまち”に成り得るのか） 事前～応急～復旧復興対策

## ワークショップ終了

### ◆全3回のワークショップが終了しました

- 毎回多くの住民の方々に参加頂き、「**私たちの大規模水害対策**」について活発な議論が行われ、参加者にとって有意義なワークショップとなりました。
- また、「**災害に対する知識・意識が向上した**」「**公的機関による被災直後の応急対策～復旧対策の内容がわかってよかった**」等の感想を頂きました。
- ワークショップで**頂いた意見は今後の検討会に活用させていただきます。**

## ワークショップ等に関する詳しい情報はこちら・・・

本検討の運営要領や規約、検討の詳しい内容、これまでのワークショップの開催報告などの情報は、以下のアドレスから閲覧することができます。



香川河川国道事務所ホームページから、左のバナーをクリックしても閲覧できます。

<http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/river/daikibosuigai/index.html>

「大規模水災害に適応した対策検討」, 「大規模水害対策ワークショップ」に関するお問い合わせは・・・



国土交通省四国地方整備局  
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>

〒760-8546 高松市福岡町4-26-32  
TEL: 087-821-1623 (計画課直通) FAX: 087-821-1713



# 「第3回大規模水害対策ワークショップ」を開催しました

- 平成25年10月6日（土）に地域住民等約100名が集まり、「第3回大規模水害対策ワークショップ」を丸亀市民会館（中ホール）にて開催しました。
- 今回で最後となる第3回ワークショップ開催の様子や検討内容等について、ご報告します。



## 第3回ワークショップの内容

### ◆第3回ワークショップ検討のテーマ

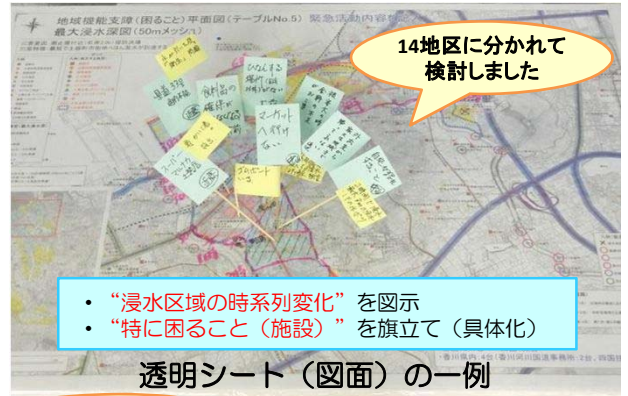
- “被害の時系列変化”を踏まえたふり返りにより、地域で“特に困ること（施設）”の図示・具体化をすることで情報を共有しました。
- 「水害に強いまちづくり」「地域の生き残り」のために、特に必要な対策は何か、優先的に対応すべき対策は何か意見カードに記入することで、大規模水害時に地域ができることを議論しました。

### 【検討その①：透明シートで検討しました】

- ◆ 被害（浸水区域）の時系列変化を透明シートに図示・具体化し、“特に困ること（施設）”を図示し困ることの対象施設を特定することで、**具体的にどんな状況・被害が起こるか**を再確認しました。

### 【検討その②：意見カードで検討しました】

- ◆ 「水害に強いまちづくり」「地域の生き残り」のために、自助・共助・公助と時系列の視点に着目し“**いつ誰が何をするか**”意見カードに記入することで特に必要な適応策は何か、優先的に対応すべき適応策は何か、議論しました。



“私たちの大規模水害対策”を意見カードに記入、キーワード毎に整理しました

大規模水害時に“いつ誰が何をするか”アイデアを意見カードに記入しました



### ◆第3回ワークショップ検討を実施して……

- ◆ 各地域（テーブル）での“私たちの大規模水害対策”について数多くの意見が出されました。
  - ＜例えば＞
    - ・【備え・共助】排水路等の点検、避難マニュアル作成等の学習、備蓄の確保、etc
    - ・【被災直後・自助】被災状況に関する情報収集、避難所・経路の状況確認、etc
    - ・【その後・共助】避難所の適正な運営（避難所のルール、助け合い）etc

### ◆全3回のワークショップ検討を終えて……

- ◆ 3回のワークショップに参加した感想について右のようなアンケートを実施しました。

問1：大規模水害の情報は役に立ちましたか？  
 問2：ワークショップに参加してよかったですか？  
 問3：「水害に強いまちづくり」が議論できたと思いますか？

感想

- ・ 災害に対する認識の改革が大切
- ・ 応急対策～復旧対策内容がわかってよかった
- ・ 水害に強いまちになるためには、今後さらなる議論が肝心

